

金属部会総会・故清水進金属部会特別顧問を偲ぶ会議事録

日時 2026 年6月 28 日(日) 14:30~17:00

場所 ZOOMによるウェブ会議+機械振興会館6D-4

参加費 無料

出席者 51名

機械振興会館6D4 19名

ZOOM参加者 32名

安齋英哉、井上哲也、塩田祥二、加藤友則、河合保幸、角間弘志、岩田美津夫、宮内憲一、橋本英樹、犬丸晋、荒城昌弘、黒田超、細谷佳弘、笹口裕昭、山岡正和、山崎一正、渋谷健一、勝見百合、小山達也、小竹健、小塚隆、小林経明、新井田有慶、石橋良、石神健太、石塚慶一、石田正雄、川村明、多田雅毅、大友浩一、池田大亮、中山佳則、中村将士、中村隆彌、中嶋宏、長屋五郎、鳥形啓輔、田中秀明、田中和明、渡辺正満、渡邊喜夫、藤間美子、萩野太郎、服藤正明、櫻井理孝、濱田賢祐、河村明、芝崎誠、奥村貞雄、松下滋

【第1部】金属部会総会 1430—15:30

金属讃歌

総会趣旨説明 田中部会長

金属部会2026年度活動方針説明 田中部会長

金属部会活動紹介

- 1) 金属学会とのコラボ活動「What's 技術士？」 金属部会幹事 田中秀明幹事
- 2) 金属部会SNS広報活動 金属部会幹事 宮内憲一幹事

10分間の休憩

【第2部】故清水進金属部会特別顧問を偲ぶ会 1540—1640

黙祷

偲ぶ会趣旨説明 田中部会長

故清水名誉顧問への想いで（30分間）

顧問会の皆様（奥村顧問、小林顧問、新井田顧問）

「清水進さん偲ぶ会記念紙」 添付資料

写真でたどる故清水名誉顧問のありし日の姿

YES-Metals!の歌

【第0部】金属部会協力者個展金属部会集団見学

集合時間 12時30分（昼食は各自事前にお済ませください）

会場： アールグロリユー ギャラリー オブ トーキョー

展示タイトル：「層をわたす」（仮）

個展者：鉄のアーティスト 長坂絵夢さん

参加者11名

ミーティング要約

簡単なまとめ

この会議は金属部会の総会2026の開催で、部会長の田中が会議の趣旨説明を行い、会計報告、役員構成、部会運営方針について報告した。会計報告では2026年度が赤字となったことが説明され、主な理由はウェブ補助金の廃止による収入減少が原因であることが報告された。役員構成については38名の体制で運営されており、執行役6名、幹事21名、相談役顧問11名が配置されている。田中秀明が日本金属学会とのコラボレーション活動について詳細に報告し、マテリアル誌での連載掲載やシンポジウム開催など、技術会の知名度向上を目的とした取り組みについて説明した。

要約

金属部会総会2026会議

会議では金属部会の総会2026が開始され、清水特別顧問の指導部会がその後開催されることが確認された。参加者はオンラインでリモート参加しており、音声とビデオはオフにして意見はチャットで共有することが決定された。会議の主題はチャットで共有されているため、参加者はダウンロードして確認することが求められた。

2025年度部会会計報告

藤間は金属部会の総会の趣旨説明を行い、田中部会長が会議の経緯を説明した。2025年度の会計報告では、部会は赤字に近づいているが、ウェブ補助金の廃止が主な要因であることが報告された。現在2,000,000円程度が貯まっているが、定常状態のレベルまで減っていくことが予想されている。

金属部会役員構成報告会

藤間は7月1日時点での金属部会の役員構成について報告し、38名の体制で構成されていることを説明した。部会の三つの主要方針として、理事会委員会活動への参加、CPD活動の促進、そして情報発信の実施が挙げられた。情報発信の取り組みとして、金属学会のマテリア雑誌への技術論文投稿、春季講演大会の企画シンポジウム、そしてYouTubeでの情報発信が行われている。8月9日に五部会合同講演会が予定されており、会場参加者を増やすための取り組みも計画されている。

金属部会知名度向上取り組み

田中秀明は日本金属学会と日本技術会のコラボレーションによる金属部会の知名度向上の取り組みについて報告した。彼は1937年に創立された日本建造学会のマテリア雑誌での連載企画の企画から始まり、部会長と幹事会の協力を得て執筆者を選定した。連載は好評を得て1年延長され、さらにシンポジウムが3回開催され、来年3月に最終回が予定されている。中村将士は文章の修正について感謝の意を表し、現在マテリアの編集プロセスにあり、査読の結果を待っている状況であることが確認された。

金属部会SNS広報戦略会議

会議では、金属部会の活動とSNS広報について議論された。藤間は、金属部会の活動を学会全体に知らせる方法を提案し、田中秀明はこれを検討すると回答した。松下は、部会長会議での積極的なPRを推奨した。宮内は金属部会の公式SNS活動についてプレゼンテーションを行い、X（旧ツイッター）、ノート、フェイスブックの3つのSNSプラットフォームを活用して、技術者への情報発信を行っていることを説明した。

金属部会のSNS活動報告

藤間は金属部会のSNS活動について報告し、AIを使用して投稿内容を生成し、イラストも会話を通じて作成していることを説明した。現在、244のフォロワーがあり、主に受験生や一般の関心者に情報を提供していることが報告

された。藤間は、金属部会の技術認知度向上と受験生への情報提供に貢献しているため、今後もSNS活動を継続したいと述べた。会議の最後に、参加者は質問があればフォームのアンケートに回答するよう促された。

清水先生追悼セッション会議

藤間が第二部の古清水進金属部会特別顧問をしのぶ会の司会を務め、清水清水先生の追悼セッションを開始した。田中は清水先生の最後の参加が吉武記念講演会で、3月の顧問会は欠席された、4月に亡くなった連絡をうけたことを報告。金属部会の歌の歌詞が清水先生の提案により「幾星霜」に変更されたことを紹介した。会議では清水先生の貢献と年表が共有された。

清水進氏の訃報報告会議

藤間は清水進氏の訃報について話し、4月12日に知らされたことと、3月22日に亡くなられたことを報告した。金属部会顧問5人会のウェブ会合に4年前から年3回の会合を開催していたが、最近は健康の問題で二回欠席していた。奥村は清水の七回忌の墓参りで、清水の信頼性と部会長としての貢献について振り返り、山梨県での活動についても言及した。会議は小林顧問の話が続ぎ、次いで新井田顧問の話が続いた。

清水様の長期部会長任期記念会議

清水様の長期の部会長任期について話し、清水様と吉武様の間の強力な信頼関係を称賛した。清水様の誠実な人柄と金属部界への愛情、業績と貢献、特にイエスメタルズの発足と創立60周年の記念碑の企画について言及された。

清水記念歴史金属学セミナー計画

田中は清水さんを記念して「清水記念歴史金属学セミナー」を提案し、プラチナの歴史についての発表を継続することを提案した。2026年11月に開催予定で、すでに2人の演者が決まっているが、第三の演者を探している。清水さんの意志を継ぐことが今後の目標として設定された。

